

日本リハビリテーション医学会 平成 23 年度臨時理事会議事録

日 時：平成 23 年 4 月 9 日(土) 16 時～18 時 30 分

場 所：都市センターホテル 701 号室

構成員：理事 12 名、監事 2 名

出席者

理事長／里宇明元

常任理事／赤居正美・上月正博・水間正澄・吉永勝訓

理 事／朝貝芳美・浅見豊子・生駒一憲・川平和美

菅 俊光・正門由久・水落和也

監 事／住田幹男・木村彰男

専門医会幹事長／菊地尚久

議 題

I. 報 告

1) 常任理事会報告

里宇理事長から、平成 22 年度第 12 回、第 13 回及び臨時常任理事会の報告があった。

2) 平成 22 年度第 9 回役員会メール審議状況について

里宇理事長から、東日本大震災により中止となった平成 22 年度第 9 回役員会で予定されていた議題のその後のメール審議状況について、報告があった。

3) 大震災が委員会等通常業務・活動に与える影響の調査について

里宇理事長から、大震災が委員会等通常業務・活動に与える影響の調査結果について、報告があった。

II. 重要審議事項

1) 第 48 回学術集会、評議員会・総会の開催について

里宇理事長から、第 48 回学術集会、評議員会・総会の開催について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

2) 平成 23 年度事業方針(案)について

里宇理事長から、平成 23 年度事業方針(案)について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

3) 平成 23 年度暫定収支予算書(案)について

上月常任理事から、平成 23 年度暫定収支予算書(案)について説明があり、審議の結果、震災対応経費を支出予算科目として独立させることとして、原案どおり承認された。

4) 平成 23 年度収支予算書(案)について

上月常任理事から、平成 23 年度収支予算書(案)について説明があった。審議の結果、震災対応経費を支出予算科目として独立させ、更に震災対応の後方支援経費として寄附を募ることとし、その寄附を盛り込んで修正した予算書を 4 月 23 日の理事会で決定することとした。また、平成 22 年度末に予定していたが資金不足で実行できなかった、50 周年記念事業積立のための特定資産からの取り崩しの方針が承認された。

5) 公益社団法人への移行関係(定款の変更案等)について

上月常任理事から、定款変更案等について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。また、平成 23 年 1 月の内閣府公益認定委員会の窓口相談で示された、公益認定まで現評議員の任期を延長する方針についても承認された。

6) 震災後の対応について

里宇理事長から、震災後の本学会の対応体制とこれまでの対応の経過について説明があり、学会としての危機管理体制のあり方及び今後の震災対応について議論された。審議の結果、リハビリテーション医療関連 5 団体と連携して合同の震災対応事務局を設けること、及び震災対応の後方支援経費として募金を行うことが承認された。

III. 審議事項

1) 浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり 2011. 3. 31 付けで資格更新となる対象者への特別措置(1 年間の猶予期間)が承認された。

以 上

日本リハビリテーション医学会 平成 23 年度第 2 回理事会議事録

日 時：平成 23 年 6 月 3 日（金） 10 時～ 11 時 30 分

場 所：大阪毎日インテシオ 4 階 F 会議室

構成員：理事 16 名、監事 2 名

出席者

理事長／里宇明元

常任理事／赤居正美・上月正博・水間正澄・吉永勝訓

理 事／朝貝芳美・浅見豊子・生駒一憲・出江紳一

川平和美・才藤栄一・佐浦隆一・菅 俊光

椿原彰夫・正門由久・水落和也

監 事／住田幹男・木村彰男

名誉会員／千野直一・土肥信之・村上恵一

専門医会幹事長／菊地尚久

第 49 回学術集会会長／蜂須賀研二 幹事／佐伯 覚

評議員会・総会議長候補／古市照人

副議長候補／大串 幹

議 題

I. 報 告

1) 常任理事会報告

里宇理事長から、平成 23 年度第 2 回常任理事会の報告があった。

2) 会員現況報告について

赤居常任理事から、会員現況について報告があった。

3) 第 48 回学術集会の準備状況について

赤居第 48 回学術集会会長から、学術集会の準備状況について報告があった。

4) 評議員会・総会の議事確認について

里宇理事長から、評議員会・総会の議事次第について報告があった。

5) 震災後の対応について

里宇理事長から、東日本大震災後の学会の対応について報告があった。

II. 審議事項

1) 平成 22 年度地方会事務局運営費補助金収支決算及び平成 23 年度事務局運営費補助金について

上月常任理事から説明があり、審議の結果、原案

どおり承認された。

2) 会費を 2 年以上滞納した者の除名について

赤居常任理事から、会費を 2 年以上滞納した者の除名について説明があり、名簿を回覧した。該当者名簿については、本日は総会事務局受付で確認できることとした。

3) 第 49 回学術集会の準備状況について

蜂須賀研二学術集会会長から準備状況について説明があった。

4) 医師以外の正会員入会について

椿原理事から、医師以外の正会員入会 1 名について説明があり、審議の結果、入会が承認された。

5) 会員の入退会について

赤居常任理事から説明があった。

6) 社会保険等委員会関係

吉永理事、水落理事から、リハビリテーション関連 5 団体、外保連について説明があった。回復期リハ病棟入院料の評価区分について意見交換が行われ、今後も役員間でメールにより意見交換することとした。

7) 研修施設の新規認定について

浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり 8 施設の認定が承認された。

8) 研修施設の資格喪失について

浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり 5 施設の資格喪失が承認された。

9) 指導責任者の新規認定について

浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり 17 名の新規認定が承認された。

10) 指導責任者の資格更新について

浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり 53 名の更新、東日本大震災による特別措置として 7 名の延長が承認された。

11) 専門医・認定臨床医の資格更新について

浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり 247 名の更新、東日本大震災による特別措置として 26 名の延長及び 94 名の保留、2 名の喪失、その

他（退会、逝去）11名が承認された。

12) 病態別実践リハビリテーション医学研修会特別委員の委嘱について

正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

13) 細則 (2)-e 項目による生涯教育研修単位の申請について

正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

14) 細則 (2)-f 項目による生涯教育研修単位の申請について

正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

15) その他

① 後援・協賛について

赤居常任理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

Ⅲ. 報告事項

1) 各種委員会報告

平成 23 年 5 月 13 日から平成 23 年 5 月 21 日までの間に開催された各種委員会について、次の通り各担当理事から報告が行われた。

- | | |
|-----------|------|
| ① 認定委員会理事 | 浅見理事 |
| ② 試験問題委員会 | 出江理事 |
| ③ 関連機器委員会 | 水落理事 |

④ 診療ガイドライン委員会 生駒理事

2) 専門医会報告

菊地専門医会幹事長から、平成 23 年 6 月 24 日に予定しているリハビリテーション科女医専門医ネットワーク委員会企画のインタビューについて報告があった。

3) 「地方会組織における生涯教育研修会の実施に関する申し合わせ」「専門医・認定臨床医生涯教育の履修項目及び単位」の一部改正について

椿原理事から説明があった。

4) 細則 (2)-g 項目による生涯教育研修単位の申請について

正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

ただし、受付番号 3 (g 591 knt) の担当を北陸地方会に修正することとした。

5) その他

① 平成 24 年度理事会日程(案)について

赤居常任理事から説明があり、審議の結果、承認された。

ただし、平成 24 年 5 月 30 日～31 日の理事会会場については、ホテルオークラ福岡に修正し、11 月 17 日開催予定の第 6 回理事会は、専門医会学術集会と同日のため、あらためて日程調整することとした。

以 上

日本リハビリテーション医学会 平成 23 年度第 3 回理事会議事録

日 時：平成 23 年 7 月 23 日(土) 12 時～15 時 45 分

場 所：都市センターホテル 5F スバル

構成員：理事 16 名、監事 2 名

出席者

理事長／里宇明元

常任理事／赤居正美・上月正博・水間正澄・吉永勝訓

理 事／朝貝芳美・浅見豊子・生駒一憲・出江紳一

川平和美・才藤栄一・佐浦隆一・菅 俊光

椿原彰夫・正門由久・水落和也

監 事／住田幹男・木村彰男

専門医会幹事長／菊地尚久

議 題

I. 報 告

1) 常任理事会報告

里宇理事長から、平成 23 年度第 3 回常任理事会の報告があった。

2) 会員現況報告について

赤居常任理事から、会員現況について報告があった。

3) データマネジメント事業について

赤居常任理事から、日本医学会利益相反ガイドラインを受けてのデータマネジメントに関する動きについての報告があった。この中で、関係団体と連携

した共通データベースの構築については、審議事項に議題を移して審議することとした。

4) 震災後の対応について

里宇理事長から、「外保連ニュース号外 2011 年 7 月」の記事、週間医学界新聞の記事、「第 3 回リハ支援関連 10 団体総合戦略会議議事録」、「10 団体活動実績報告（概略版）」に基づき、東日本大震災後の学会の対応について報告があった。

II. 重要審議事項

1) 代議員選挙・次期役員選挙について

吉永常任理事から説明があり、去る 7 月 12 日に開催された第 1 回選挙の在り方に関する検討委員会報告に併せ、理事会で決定する事項及び報告すべき事項について説明があった。医師以外（正会員）の代議員選出について、審議の結果、今年度実施の代議員選挙では特別枠等を設けての選挙は行わないこととした。しかしながらこの問題は重要であるため役員会で議論を継続していくこととした。

次に、代議員定数について、選挙管理委員会が定める各地方の定数配分は、全会員数に対する各地区会員数比率を定数 300 名に乘じ、小数点以下を切り捨てた人数を各地区の定数とすることとなった旨の報告があった。また、投票の連記数について、選挙の在り方に関する検討委員会の意見を参考に、地区毎の代議員定数に基づく連記数を各地区定数の 100%とする案の提案があり、審議の結果、提案どおり承認された。

2) ISPRM について

里宇理事長から、最近の ISPRM の状況について報告があり、これまで問題のあった事務局体制及び執行体制に改善がみられること及び日本に対する期待が大きいことから、今後、日本としても ISPRM の活動に積極的に関わっていくこと、その一環として学術集会の招致についても積極的に進めていくことが提案され、審議の結果、承認された。

関連して、木村監事から、50 周年記念事業実行委員会の中に ISPRM 招致委員会を立ち上げることが助言された。

3) 50 回大会・50 周年記念事業の準備状況について

里宇理事長から、実行委員会での検討内容及び設立 50 周年記念事業の進捗状況について報告があった。更に設立 50 周年記念式典・第 50 回学術集会へ

の海外招聘候補者リスト(案)の説明に併せて、グラクソ・スミスクライン株式会社からの本医学会の設立 50 周年に向けての啓発活動への寄附の申し出があったことについて説明があり、今後、利益相反マネジメント体制を整備しながら、このような外部資金の受入れを積極的に進めていくことが提案され、審議の結果、承認された。続いてキャッチフレーズおよびロゴマーク公募について報告があった。

III. 審議事項

○報告 3) データマネジメント事業に関連する審議について

里宇理事長から、半田日本理学療法士協会会長、中村日本作業療法士協会会長、深浦日本語聴覚士協会会長と協議を行った共通データベース構築に向けての方向性について説明があり、本学会が構築中のデータベースを基に、広く各団体共通のデータマネジメントシステムを構築する方向で一致し、今後、各団体の役員会等での審議を経て、合同委員会を立ち上げ、活動を開始することで合意したことが報告された。審議の結果、本合意に基づき、本学会として共通データマネジメントシステムの構築に向けて、積極的に進めることが承認された。

1) 利益相反委員会内規(案)について

赤居常任理事から説明があり、審議の結果、利益相反委員に委嘱された者が利益相反状態になった場合の取り扱いについて規定すべきとの意見があり、常任理事会で修正し、会則検討委員会で検討の後、役員会メール審議で承認を得ることとした。

2) 学術集会開催準備資金前払金支出申請について

赤居常任理事から説明があり、審議の結果、申請どおり前払金を支出することが承認された。

3) 会員の入退会について

赤居常任理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

4) 社会保険等委員会関係

吉永理事、水落理事から、①内保連関係（代表ヒアリング、領域別委員長会議）、②外保連関係（外保連提案項目）、③リハ医療関連 5 団体、④厚労省中医協小委員会、⑤社会保険等委員会の説明があった。

5) 研修施設の新規認定について

浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どお

- り 8 施設の認定が承認された。
- 6) 研修施設の資格喪失について
浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり 2 施設の資格喪失が承認された。
- 7) 指導責任者の新規認定について
浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり 5 名の新規認定が承認された。
- 8) 認定臨床医の資格更新辞退について
浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり 2 名の辞退が承認された。
- 9) 電子査読システム J-STAGE 2 から 3 へのバージョンアップ及び WPRIM 収載に向けての投稿規定の改正について
川平理事から、電子査読システム J-STAGE 2 から 3 へのバージョンアップについて説明があり、審議の結果、承認された。
次に、WPRIM 収載に向けた投稿規定の変更についての説明に併せ関連する会誌投稿ならびに執筆規定に関する申し合わせの修正案の説明があり、審議の結果、原案通り承認され、会則検討委員会に諮り、役員会にメールで報告することとした。
- 10) プライマリ・ケアのためのリハビリテーション研修会開催計画(案)について
正門理事から説明があり、審議の結果、基本的に計画どおり進めること、横浜で行われる実習研修会の在宅リハ、訪問リハを参考にしながら開催することが、承認された。
- 11) DVD 販売促進(案)について
正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 12) 病態別実践リハビリテーション医学研修会(内部障害)講師・講義テーマについて
正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 13) 細則 (2)-e 項目による生涯教育研修単位の申請について
正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 14) 細則 (2)-f 項目による生涯教育研修単位の申請について
正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

15) その他

①後援・協賛について

赤居常任理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

IV. 報告事項

1) 各種委員会報告

平成 23 年 4 月 22 日から平成 23 年 7 月 16 日までの間に開催された各種委員会について、次の通り各担当理事から報告が行われた。

① 編集委員会	川平理事
② 教育委員会	正門理事
③ 認定委員会理事	浅見理事
④ 障害保健福祉委員会	朝貝理事
⑤ 広報委員会	菅 理事
⑥ 診療ガイドライン委員会	生駒理事
⑦ システム委員会	菅 理事

2) 専門医会報告

菊地専門医会幹事長から、RJN 委員を 2 名増員することを承認した。また、脊髄障害のリハビリテーション SIG 及び切断・義肢のリハビリテーション SIG の立ち上げを承認した旨の報告があった。

3) 細則 (2)-g 項目による生涯教育研修単位の申請について

正門理事から報告があった。

4) 細則 (2)-e 項目による生涯教育研修単位の申請について(開催延期による再申請)

正門理事から報告があった。

5) 地域リハビリテーション広域支援センターに対する調査結果報告

朝貝理事から、調査結果の報告があった。なお、本報告を学会誌 9 月号に掲載することとした。

6) 会則の申し合わせの修正について

(国際委員会、認定委員会の申し合わせの修正)

椿原理事から、海外研修制度に関する申し合わせについて説明があり、一部修正のうえ会則検討委員会に諮り、役員会メール審議で承認を得ることとした。なお、専門医認定試験の実施に関する申し合わせについては、修正案を報告どおり取り扱うこととした。

7) 平成 23 年度女子医学生、研修医等をサポートするための会の開催について(依頼)

里宇理事長から報告があり、専門医会で事業を進

めることとした。

8) 第5回がんのリハビリテーション研修会報告

水間常任理事から、第5回研修会が7月札幌で開催された。年度内に3回開催する予定で、今年度中に1回本医学会当番で開催する予定である旨の報告があった。

9) 平成23年度後期各種委員会委員の委嘱・解職について

赤居常任理事から、8月12日までに委員の推薦いただきたい旨の報告があった

10) その他

①平成24年度理事会日程(案)について

赤居常任理事から日程修正案について報告があった。

以 上